

四国遍路の御接待

四国遍路5

遍路道には、どこへ行っても、道しるべがあった。
これが最もありがたい御接待。



無料宿も、地域の人々の志でできている。



私の受けた接待①

- 10番切幡寺から11番藤井寺へ行く途中、荷物が重すぎたので「クロネコ」を探して送り返そうと思っていたとき、「クルマに乗ってください」という御接待を受けた。
- 16番観音寺へ向かっていて、行き過ぎてくさっているときに、中年のご婦人から「へんろさん」と声をかけられ、ミカンをもらった。山道には標識やリボンなどが多いが、街中にはいると、きわめて少なくなる。遠慮しているのか、分かるだろうと思っているのか。

私の受けた接待②

○18番恩山寺へ向かって、国道55線の狭い歩道を歩いているとき、後ろから来た自転車が止まり、声をかけられた。「歩いておられるんですか」「いやいやまだ4～5日目で、そのつもりではいますが」

「私は三度廻ったんですがね」

「それはすごいですね。私は初めてです」

「実はクルマとバスで、歩きはないので、歩き遍路さんはそんけいしているんです」

それから、いろいろ話して、ふと止まって「四国には御接待という習慣がありましてね」といって「変な数字ですが」と、120円出された。「有り難うございます」といって戴いた。

「おやすみなし亭」と看板がでている



ここで休ませてもらった。これが③。
インスタントコーヒーだが、うまかった。お世話になった
遍路が、自分の納め札を貼って感謝の気持ちを表す。



リサイクル資材で建てたと書いてある。

